



創立60周年記念
式典・講演会・祝賀会

西毛機械工業(協)

西毛機械工業協同組合(小間俊明理事長、組合員51人)では、11月13日、富岡市・ホテルアミューズ富岡にて「創立60周年記念式典・講演会・祝賀会」を開催した。式典では、小間理事長が挨拶した後、組合活動の功績を称え、7名に感謝状を贈呈。続いて、富岡市長岩井賢太郎氏、本会会長金子正元、高崎労働基準監督署長木村英俊氏の祝辞が披露された。式典終了後に開催された講演会には、約150名が参加し、NH

Kサッカー解説者の小島伸幸氏が「サッカーから学んだこと」をテーマに講演を行った。

小島氏は、サッカーとの出会いやゴールキーパーになった経緯など、また自身の体験を交えながら、モチベーションの保ち方や目標を設定し取り組むことの大切さなどを語った。その後の質疑応答では積極的な質問が飛び交い、終始大盛り上がりでの講演会となった。



挨拶をする小間理事長

経営セミナー・組合員交流会
オール群馬トラックセンター(協)

オール群馬トラックセンター協同組合(中山宏理理事長、組合員84人)では、11月17日、渋川市・ホテル松本楼において、今年で25回を数える「経営セミナー・組合員交流会」を開催した。まず、あいおいニッセイ同和損

害保険株式会社経営支援センター

アドバイザーの山下有美氏が「会社を守る就業規則・賃金体系」をテーマに、就業規則等のひな形を示しながらポイントを解説した。次いで、全日本トラック協会副会長の三浦文雄氏が「トラック運送業界の最近の動向」をテーマに、運送業界の現状・課題や方向性等を説明した。

その後行われた組合員交流会では、終始和やかな雰囲気の中、組合員の親睦が深められた。



講師の三浦氏

交通安全施設研究会
群馬県交通安全施設業(協)

群馬県交通安全施設業協同組合(峯崎寛理理事長、組合員22人)では、11月26日、前橋市・群馬県公社総合ビルにおいて、「第24回交通安全

施設研究会」を開催した。

はじめに、鋼製防護柵協会の山田慶太氏は、昭和31年、箱根町の国道1号線に初めて本格的なガードレールが設置されて以来、進化する防護柵について衝突実験の映像を交えて説明し、中央分離帯用ワイヤーロープ式の防護柵等の最新動向を紹介した。

次に、一般社団法人全国道路標識・標示業協会本部業務部長本多茂氏は、オリンピックを控え国際化への対応が求められる中、道路標識の変更点の説明や改善の方向性を示唆した。また、観光地に設置された古い地図情報の更新をはじめ、交通安全施設の定期的なメンテナンスの重要性を強調した。会場の外では、賛助会員による交通安全施設展示が行われ、興味深く見学する姿が見られた。



第24回を迎える交通安全施設研究会